

強化合同練習会S予選運営の手引き（担当理事用）

岐阜県高体連テニス専門部 競技進行係

1 事前準備

事前に担当会場（学校）の顧問と連絡を取り、以下のことを確認、打ち合わせておく。

① 必要な用具の手配

シングルススティック・ホワイトボード・マーカー・拡声器・筆記具・ドロー表など。

② 試合球は担当理事が持って行くことを伝える

③ 仕事内容（「運営担当校用の手引き」の「当日の流れ」）

「運営担当校用の手引き」を公式サイトからダウンロードして確認してもらう。

④ 試合順序（試合の入れ方）

1 Rを番号の若いブロックからドロー番号順に入れ、続いて2 Rを同様に入れていくのが基本だが、ブロック数とコート数が同じ場合は、ブロック毎にコートを決めて、ドロー番号順に1 Rから入れていってもよい。

⑤ 選手以外の補助員の有無・人数

選手以外の補助員（部員）がない場合は、選手が補助員を兼ね、選手が試合に入ってしまう時間帯は、顧問だけで本部運営をやってもらう。（自分の学校で試合に出ない部員を、担当理事が補助員として連れて行ってもよい）

十分な補助員がない場合、会場準備等を手伝ってもらう学校を決めて依頼しておく。

⑥ 担当理事の連絡先（携帯電話番号）を伝える

2 当日の流れ（担当理事の仕事）

① 8:15 までに担当会場へ行く。

② 準備から諸注意、試合開始までを見守り、必要に応じて会場校顧問を手伝う。

③ 試合開始時刻（9:00）になって来ていない選手を失格にする（デフォールを顧問または該当選手の同校の選手、いずれもいなければ該当地区の委員長に預ける）。

④ 試合中は、会場校顧問に協力して、試合運営にあたる。（詳細は「運営担当校用の手引き」）

⑤ 会場校顧問では対処できないトラブルが起こったら、担当理事が対処する。

担当理事でも対処に困る事態のときは、県委員長等に連絡して対処方法を確認する。

⑥ 試合終了を見届けた後、次の作業を行う。

i) ブロック決勝の勝者（ラッキールーザーのブロックは決勝の敗者も）の確認

ii) 試合結果をまとめたドロー表の受取

iii) 余った試合球の受取（予備球を使った数を確認）

⑦ 担当会場のブロック決勝の勝者（ラッキールーザーのブロックは決勝の敗者も）・残球数を、取りまとめ責任者の理事（男子：伊藤先生・女子：西野先生）へ速やかに電話連絡する。

⑧ 試合結果のドロー表と余った試合球は、本戦抽選会場へ持参する。

抽選会場へ行かない場合は、抽選会場へ行く他の理事に事前に預ける。

3 熱中症対策

(1) 通常通り実施の場合

- ① 朝の諸注意のとき、帽子をかぶる、こまめな水分補給（第1ゲーム終了後もベンチには座れないが給水は可能である）、ミネラル分の補給、試合でないときは日陰で待機、などの注意を与える。

※強化合同 S に限り、ポイント間であっても合理的な時間を利用して給水を認める。積極的な給水に努めるよう促す（本戦についてはタオル籠の中にタオルと水筒を置くことを認め、同様にポイント間の給水を認める）

- ② 試合終了から次の試合開始までのレストを 15～20 分確保する（コートに空きがある場合でも試合間隔を開ける）。

(2) 猛暑が予想される場合（事前に県委員長から連絡あり）

- ① 朝の諸注意は(1)のときと同じ。
- ② 日陰になる待機場所を諸注意のときに連絡する。
- ③ 1Rと2Rが連続する場合のレストは30分、2RとSFが連続する場合のレストは60分、SFとFが連続する場合のレストは30分を確保する。

(3) スーパー猛暑が予想される場合（事前に県委員長から連絡あり）

- ① 朝の諸注意は(1)のときと同じ。
- ② 日陰になる待機場所を諸注意のときに連絡する。
- ③ 8日(木)は2Rまで実施し、SFとFは9日(金)に同じ会場で実施する。
- ④ 1Rと2Rが連続する場合のレストは30分を確保する。